

V 利用教育

図書館の利用方法を案内、指導する場合、学生・教員・一般利用者といった背景が違う人や、図書館利用初心者から、ある程度使いこなしている人まで、幅広い利用者に対応するため、計画的な利用教育が必要となります。

利用教育の目的

- ・図書館の役割、利用ルール、マナーを知ってもらう。
- ・全ての利用者が自立して、効率的・効果的に図書館を活用できるようにする。
- ・全ての利用者が利用に満足し、図書館活用への意欲が高まるようにする。
- ・図書館に来たことのない潜在的利用者に向けて宣伝し、図書館に来てもらえるようにする。

利用教育を行う中で、利用者は何を知りたいのか、どのような資料があればそれに応えられるのか、図書館としても資料の充実を図ることができ、また、相談を受ける図書館員のスキルアップにもつながります。それは利用者から図書館への信頼度・利用満足度をさらに高めることが期待できます。時間や場所・人員に限りはありますが、少しでもできることを実践し、評価・修正していくことが大事です。

1. オリエンテーション

1) 新入生

新入生へのオリエンテーション時に組み込まれることが多く、図書委員長や教員がいれば、図書館の意義や役割、高校までの図書室とは違う活用方法について啓蒙してもらいます。

また、図書館員が利用案内、学生便覧、パンフレット、スライド等を使って図書館の使い方を説明します。ただし、図書館以外のオリエンテーションが長時間続く場合は、記憶に残らないことが多いので、内容はあまり詰め込み過ぎずに、別の機会に、図書館利用指導を実施するか、図書館ホームページや図書館内外で、利用ルールや図書館でできることを案内して、覚えてもらうことが望ましいです。

2) 在校生

在校生へのオリエンテーションを新学期オリエンテーション時に実施することがあります。在校生への実施は、図書委員会ですらに必要性や内容を検討します。集合での実施が有効か、個別指導でよいか判断します。主な内容としては、図書館や実習図書の利用規則を守って活用を促す、前年度と利用規則や貸出方法等が変更になった際の通知、学生図書委員やアルバイトの募集といったことです。

3) 教員

新任の教員がいる場合にオリエンテーションを行います。主な内容は新入生オリエンテーションと同様ですが、教員向けとして、時間外の利用や授業に使用する視聴覚資料の貸出について、図書館に所蔵する資料を募集している場合は方法や締切日、研究費で図書や雑誌の購入が可能な場合の注文、購入方法等を案内します。

2. 図書館利用指導

新入生オリエンテーションとは別に、図書館利用指導のみを行います。日程が取れれば図書館ツアーや資料の利用方法案内、蔵書検索や文献検索演習を行うと、図書館資料の活用につながる事が期待できます。図書館を活用したことがない人や苦手な人にも図書館に来たいと思ってもらえる機会となります。また、図書館員が資料探しの相談に乗ってくれることを知らない人もいますので、その点も付け加えると、図書館活用への意欲を高められます。

1) 図書館ツアー

図書館ツアーとは、学生が実際に図書館に来館し、館内を見学することです。図書館員や教員の人手が確保できる場合は、少人数のグループごとに館内を案内すると、説明が全員に行き渡りやすく、学生も質問がしやすいので効果的です。その際には、1年生が特に利用する可能性が高い書架、雑誌と製本雑誌の違いを、その場に手にとって説明でき効果的に指導できます。図書委員といった上級生が案内すると、同じ学生同士で図書館を使うポイントが伝わりやすく、また、新入生も質問がしやすい利点があります。

学生数が多い場合や、案内者を確保出来ない場合は、ラリー形式で実施する場合があります。図書館出入口、カウンター、雑誌架、書架等、学生に見てほしい場所ごとに色の違うシールと説明書きを設置します。学生各自またはグループへ1枚のスタンプ用紙を渡して館内を回ってもらい、終了後にその用紙を提出してもらう方法です。

同様に時間や人員の確保が難しい場合に、図書館案内の動画を撮り、視聴してもらう方法もあります。

2) 資料の利用方法

貸出方法・冊数・期間、返却方法・返却日の確認方法・延滞時のペナルティー、禁帯シール、所蔵がない時の他館への申込方法、コピー機利用の説明を行います。特に視聴覚資料は館内のどこでどのように視聴可能かを説明すると活用につながります。

1回では利用者もなかなか覚えられないので、実際に図書館を使うようになった際にその都度利用教育が必要となります。図書館員や図書委員等の間に共通のマニュアルを作っておくと、誰が質問を受けても困りません。また、よくある質問をまとめて掲示することも有効です。

3. 文献検索指導

利用教育において、利用者が必要な情報、特に文献をどのように探すかに焦点を当てた指導を文献検索指導と呼びます。看護学生は学びの進行に応じて、これまでの教科書を中心とした学習から専門書や学術雑誌を併用した学習が求められます。そこで身につけた学習方法は、卒業後も看護職として新しい情報に触れ、ケアや研究に活かしていく際に使われます。看護図書館における文献検索指導は、その基本技術を身につけるために計画的に行われます。

1) 指導のタイミング

看護教育で文献検索指導が具体化される場面として、主に(1)各授業でのレポート作成・課題の提出、(2)臨地実習での情報収集、(3)看護研究の一環としての卒業論文作成が挙げられます。特に(3)の機会に、科目「看護研究」の一環で医学・看護学領域の雑誌文献を探す二次資料データベース等(以下データベース)の検索演習が行われています。

2) 指導の流れ

指導計画では、その目的、受講者の学年や検索技術のレベル、時間数などにより、取り上げるデータベースを選択し、解説・演習を行う範囲を定めます。構成は、導入で看護学において文献を読む意義、学術文献の構成や流通に関すること、文献検索に関する基本的な理論、取り上げるデータベースの概要などを説明し、続いてデモンストレーションや受講生による演習を行い、最後に講義と演習とをつなぐまとめをします。

演習部分で扱うトピック(検索の流れ)は以下の(1)～(8)になります。演習方法によっては、データベースにより契約したアクセス数では足りないことがあるので、事前に必要な数の演習用IDを取得しておきます。

(1)調べたいこと(課題)の明確化→(2)キーワードの作成→(3)キーワードの組み合わせを考える(検索式の作成)→(4)何を使って探すか(データベース)の決定→(5)検索の実施→(6)検索の評価→(7)入手方法の決定→(8)文献の入手

(1) 調べたいこと(課題)の明確化

手元にある関連図書や教科書などを見ながら頭に思い浮かべている「考えたいこと、調べたいこと」を文字(意味が通る文章)にします。演習では、受講生全体に演習用の課題を提示し(2)に進めていく場合、受講者が自らの研究テーマ等をもとに課題を個別に作成し、それをもとに進める場合が想定されます。

(2) キーワードの作成

データベースの検索では検索語を文章ではなく単語を入力します。ここでは、(1)で作成した文章から調べたいことに直結する語(単語)を切り出し、辞書や教科書、シソーラスを使って正確な表現を確認します。海外の文献を探す場合は英語表現も調べておきます。これらの作業で準備した語が検索語の候補になります。

(シソーラスを使う)

医学領域のデータベースには「シソーラス」が整備されているものがあり、検索もれが少ない質が高い検索結果を得るのに役立つキーワードを選択できます。シソーラスのイメージは「(その領域

に関する)専門用語の辞書・用語集」であり、①同じ意味を持つ複数の表現を持つ語(同義語・類義語)を1つの表現に代表させている(統制語)、②1つの統制語が持つ意味の範囲を規定している、③統制語間の概念の関連や上下関係(階層関係)を整理している、という特徴があります。医学・看護学領域の代表的なシソーラスには、「医学用語シソーラス」(医中誌 Web)、「MeSH (Medical Subject Headings)」(PubMed)、「CINAHL Subject Headings」(CINAHL)があります。「医学用語シソーラス」と「MeSH」は Web で公開されており、データベース自体が未契約でも統制語の検索が可能です。

「医学用語シソーラス」と「MeSH」では、入力した任意のキーワード(自由語)を検索時、自動的にシソーラスを参照させ、入力した語とデータベース側で選択された統制語のいずれかを含む検索結果を返す「マッピング(機能)」を持ち、利用者の便宜を図っています。

(3) キーワードの組み合わせを考える(検索式の作成)

検索語の入力はデータベースによりいくつかの方法が準備されています。受講生にとって身近な方法は、Web 検索と同じように1つの検索ボックスにキーワードを1つ、もしくは複数のキーワードをスペースで区切りながら入力するものです(AND 検索)。

データベースに収録されている膨大な文献から適合したものをより戦略的に取り出すには、キーワードを組み合わせた検索式を立てる技術が必要になります。キーワードを組み合わせた検索(論理演算)には、「AND 検索」、「OR 検索」、「NOT 検索」があります。作成した検索式を検索ボックスへ入力する際は、AND/OR/NOT をデータベースごとに指定される記号に置き換えるルールがあることを合わせて説明します。

AND 検索[論理積]: 2つ以上のキーワードのいずれも含むものを検索
OR 検索 [論理和]: 2つ以上のキーワードのいずれかを含むものを検索
NOT 検索[論理差]: 2つ以上のキーワードのうち、検索から除外したいキーワードを指定して検索

(4) 何を使って探すか(データベース)の決定

データベースは収録されている領域、言語、年代、書誌情報(タイトル・著者名・出版社・出版年など資料を特定するための情報)、件名、全文情報などそれぞれに特徴があり、文献検索を行う時には、調べる目的に合ったものを選択します。看護では心理学や社会学など幅広い領域の文献へのニーズがあり、医学・看護学以外のデータベースにも関心が寄せられます。指導の場面ではすべてのデータベースを一度に取り上げることは難しいので、実際に検索指導をするデータベースを絞り込みます。また他の利用教育の機会に別のデータベースを扱ったり、配布するレジュメや図書館の Web サイトで概要を紹介する方法を取ることに対応できます。

ここでは看護図書館の文献検索指導で取り上げることが多い日本語および英語のデータベースを示しました。データベースの概要及び、詳細な検索方法については、各データベースのマニュアル、“ヘルプ”、解説書をご覧ください。また本マニュアルのデータベースの項目も参照してください。

【以下に記述の Web サイトの最終アクセス:2021-10-31】

①日本語文献を探すデータベース

a. 医中誌 Web 収録されている資料: 雑誌記事・学術論文

・シソーラス: 「医学用語シソーラス(第9版)」PDF版(医学中央雑誌刊行会, 2019)

<https://www.jamas.or.jp/service/thesaurus_list/>

「シソーラスブラウザ(無料公開版)」<<https://www.jamas.or.jp/database/thesaurus.html>>

「医学用語シソーラス」は MeSH(Medical Subject Headings)に準拠して作成されています。統制語は、シソーラスに登録されている語を「シソーラス用語」、シソーラスには登録されていないが重要な用語であると判断された語を「医中誌フリーキーワード」と定義しています。採録文献には、シソーラスに基づき人手によるキーワードの付与が行われています(「OLD 医中誌」と「Pre 医中誌」を除く)。

・主な検索方法

「キーワード検索」では、思い付きのキーワード(自由語)を使って検索した場合、「マッピング機能」により「シソーラス用語 or 入力したキーワード」の形で結果が返されます。検索履歴には、この変換された検索式が表示されます。またシソーラス用語を検索語として使用するときは、メニュー「シソーラス検索」を参照します。

「絞り込み検索」では、キーワードによる入力や履歴検索を行う際に設定された絞り込みの条件を選択することができます。記事の種類や治療、診断に関する副標目など多彩に準備されており、例えば看護文献に絞って検索したい場合は、「看護文献」にチェックを入れることで看護雑誌に掲載された文献に絞り込むことができます。

・医中誌 Web のリニューアル(2021年)に伴い、『検索ガイド(第3版)』

<<https://www.jamas.or.jp/user/guide/>>(医学中央雑誌刊行会, 2019)等が改訂される予定です。

・文献検索指導にあたって

医中誌 Web は卒業後の勤務先で導入されていることが多く、近年では市民の医療情報への関心の高まりから公共図書館に導入される例があります。このようなことから、契約していない学校でも「デモ版」で演習を組むなど在学中に可能な限り触れる機会を作っておきたいデータベースです。また日本語でシソーラスを参照し、シソーラス用語を用いた検索を経験することで、PubMed等を使った海外文献の検索のハードルが少し低くなることも期待されます。

b. 最新看護索引 Web 収録されている資料: 雑誌記事・学術論文

シソーラスはありませんが主題を表す件名のリストがあり、文献ごとに複数の件名が付与されています。条件検索画面にある「件名」欄右側にある参照ボタンから件名検索画面を表示し参照したのち、検索語として条件検索画面に引き込むことができます。(検索語の参照機能)

・主な検索方法

「簡易検索」では、キーワードを複数入力でき、検索欄右側のプルダウンメニューで AND 検索と OR 検索が選択できます。さらに「検索式の直接入力」も選択できます。「条件検索」では、雑誌名や著者名など項目を指定した検索をすることができます。

・検索の評価

結果画面には、書誌事項のほか、参考文献数、件名(キーワード)、注記・出典、記事区分、記事の本文(PDF)へのリンクなどがあります。検索結果のなかを探している事柄に近い文献に共通して付与されている件名があれば、それを次の検索語として使うとよりよい検索結果を得ることができます。

・「日本看護学会論文集」(第42回以降)の全文(PDF)がダウンロードできます。

・「会員版」と「機関版」の違い

日本看護協会会員を対象とした「会員版」では検索結果から複製申し込みができるように整備されています。「機関版」では検索結果を一時的に保存する「文献フォルダ」機能があります。

・文献検索指導にあたって

学生が卒業後に勤務する医療機関等では、文献検索や文献を入手する環境が必ずしも十分に整っていないことがあります。このデータベースはそのような環境にある看護職に文献へのアクセスを維持するために整備されています。看護学生が卒業する前にもう一度説明しておきたいデータベースです。

c. CiNii Research 収録されている資料：図書・雑誌・雑誌記事・学術論文・研究データ・研究プロジェクト情報など

CiNii Research は、国立情報学研究所(NII)や外部連携機関などによって構築されたデータベースが収録されており、横断検索により多様な学術情報にアクセスできるサービスです。検索結果(詳細表示画面)では関連する研究データ、文献、プロジェクトなどの表示や情報へのリンクがあり、利用者の便宜を図っています。

・主な検索方法

トップページ(「すべて検索画面」)では、フリーワードによる検索欄と、検索語を特定の項目(タイトル、著者・代表者など)に入力する詳細検索が準備されています。詳細画面では、収録されたデータベースを特定した検索やデータ種別(研究データ・論文・本・博士論文・プロジェクト)を限定した検索ができます。データ種別を限定した検索では、選択した種別に合わせた検索項目が表示されます。また検索結果画面からもデータ種別や言語などを絞り込むことができます。

CiNii Research にはシソーラスがありません。キーワードを設定する場合は、同義語や表記のゆれにつながる語を複数準備し個別に検索をする、あるいはキーワード間を OR でつなぎ、検索漏れをできる限り少なくします。看護文献にできるだけ絞った検索をしたい場合は、課題に関するキーワードに加え、必要に応じてさらに領域(看護)に関するキーワードを加えます。実際には「看護」を加えるだけで十分に絞り込むことはできず、「nurs*」「ケア」「援助」「支援」などの語を OR でつなぎます。

・文献検索指導にあたって

利用者が抱える疑問を解決する際に幅広い領域を対象とするデータベースが必要になることがあります。有料データベースを契約できない図書館の場合は、学生が自宅等で気軽に看護文献を検索できる数少ないデータベースであり、利用教育を通して使えるようになってほしいツールです。一方で、横断検索でさまざまなタイプの資料がヒットするため、利用者は混乱するかもしれません。検索対象や結果の絞り込みを適切に行い、検索結果に表示されるデータ種別のアイコンや詳細表示画面にある情報を使い正しく読み取れるよう促すことが指導では必要になります。

②外国語文献を探すデータベース

a. PubMed 収録されている資料：雑誌記事・学術論文

・シソーラス：「MeSH(Medical Subject Headings) Database」

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/mesh/>

NLM(米国国立医学図書館)はシソーラスとして「MeSH」を作成し、毎年改訂されています。

MEDLINE への採録文献に対して、2通りの MeSH 用語の索引付けが行われています。一つは文献の中心的主題を表すキーワードとして付与される「Major Topic」であり、もう一つは文献中で触れられているが、中心的な主題ではないキーワードに対して付与されています。検索結果の詳細

画面で個別の文献に付与された用語を「MeSH terms」で見ることができ、「Major Topic」には語の最後にアスタリスク(*)がついています。

・主な検索方法

基本的な検索方法は、PubMed のトップページに表示される検索ボックスにキーワードを1つあるいは複数入力するものです。入力したキーワードは、マッピング機能により該当する MeSH 用語に自動変換されて検索され、変換された検索式が「advanced search」(詳細検索)画面の下にある「History and Search Details」(検索履歴)に表示されます。検索結果は「Best match」(適合度)の順にソートされた書誌情報が表示され、クリックすると詳細画面が表示されます。また検索結果を絞り込む場合は、検索結果画面の左側に表示される「Filters」の各項目で指定できます。

「advanced search」(詳細検索)では、著者名や資料名などフィールドを指定した検索や「History and Search Details」(検索履歴)を使った検索で使うことができます。

MeSH を使って検索をする際は、PubMed のトップページ下にある「MeSH Database」を使います。キーワードを入力すると、それに対応する MeSH 用語の候補がヒットします。該当する語の詳細画面では、MeSH 用語と組み合わせることができる副標目(Subheadings)や階層構造によるリストが表示されます。適当な語にチェックを入れると「PubMed Search Builder」に検索語として流し込まれます。特定の副標目を使用しない場合は「Restrict to MeSH Major Topic」にチェックを入れ検索を実行します。

・日本語のキーワードを使って検索する (JDreamⅢ・医中誌 Web)

JDreamⅢには MEDLINE が搭載されており、検索ボックスに日本語のキーワードが入力できるほか、結果の一部(タイトルや文献の概要(抄録))を日本語訳で読むことができます。医中誌 Web に MEDLINE は搭載されていませんが、シソーラスブラウザ(無料版も含む)に日本語のキーワードを入力すると対応する医中誌のシソーラス用語の詳細情報として MeSH 用語が確認できます。その画面に表示される「PubMed を検索」をクリックすると、該当する MeSH 用語を検索語とした PubMed の検索結果画面が表示されます。

b. CINAHL 収録されている資料: 図書・雑誌記事・書評・学術論文・視聴覚資料など

・シソーラス:「CINAHL Subject Headings」

シソーラスは看護学や周辺領域のシソーラス用語が充実しており、PubMed の MeSH にはない固有の用語も多く作成されています。例えば看護診断の用語は、そのままシソーラス用語になっています。シソーラスはメニューバーにある「CINAHL Subject Headings」からシソーラス用語とサブヘディング(subheading)を参照し、検索語として使用することができます。

・主な検索方法

基本的な検索方法は EBSCOhost の操作によります。図書館が指定した方法で EBSCOhost にログイン後、契約した CINAHL を選択すると詳細検索画面に移ります。「Advanced Search」(詳細検索)では検索ボックスが3つ準備されており(増やすことができる)、1つの検索ボックスに1つのキーワード(自由語)を入力し、隣のプルダウンメニューからフィールドを選択します。複数のキーワードを入力する場合は、検索ボックス間にある AND/OR/NOT も選択し検索を実行します。検索結果は「関連度」順によりソートされた書誌情報が表示され、クリックすると詳細画面が表示されます。

また「Search Options」(検索オプション)では、検索前に検索結果の拡張や絞り込みを指定することができます。例えば「尺度」を調べたい場合は、「Search Options」内の「Publication Type」(出版物タイプ)から「Research Instrument」を選択します。

CINAHL Subject Headings を使って検索をする際は、検索画面上部のメニューにある「CINAHL Subject Headings」(CINAHL サブジェクトへのヘディング)をクリックし、シソーラス語の検索画面に移ります。検索ボックスにキーワードを入力し、「Term Begins With」(次[入力した語]で始まる用語)、「Term Contains」(次[入力した語]を含む用語)、「Relevancy Ranked」(関連度ランク)のいずれかを選択し検索(Browse)すると、関連するシソーラス用語が表示されます。一覧から検索に使うシソーラス用語と付随するサブヘディングをチェックし、検索を実行(Search Database)すると検索結果が表示されます。

検索履歴を使って検索をする際は、検索画面の下にある「Search History」(検索履歴)をクリックすると履歴が表示されます。掛け合わせる履歴をチェックし、「Search with AND」(AND を使用して検索)または「Search with OR」(OR を使用して検索)を選択し検索を実行します。

・PubMed との使い分け

CINAHL では、PubMed には採録されないヘルスケア関連の書籍・看護系学位論文・看護基礎実践本・測定尺度・クリティカルパス・教育用の視聴覚資料などの情報も採録されていることが特徴的です。

・CINAHL は、契約するバージョンにより、雑誌数、検索できる期間、抄録や全文情報の範囲が異なります。またヘルプやマニュアルを参照する際には、契約していないバージョンにも対応した説明があるので注意が必要です。

(5) 検索の実施→(6) 検索の評価

検索するデータベースを定めたら検索を実施します。検索結果の一覧や詳細画面で表示されるタイトルや抄録などを見ることで実際に手に取って読んでみたい文献を判断したり、調べたいことに近い文献に付与されたシソーラス用語をもとに再検索の方針を立てていくことができます。受講生には、検索ごとに使ったキーワードやその組み合わせ、ヒットした件数を記録し、検索結果の内容を評価しながら、必要に応じてキーワードを増減し再検索を繰り返すよう指導します。

(7) 入手方法の決定→(8) 文献の入手

検索結果から文献を入手するには、4つの方法「①検索結果画面にある本文へのリンクをたどり本文(PDF)をダウンロードする(機関リポジトリ、J-STAGE、各館で契約している電子ジャーナルなど)」、「②学内所蔵を調べ、書架にある雑誌を手にする」、「③近隣の大学等の所蔵を調べ、直接出向く(紹介状が必要な場合あり)」、「④学内の図書館員に声をかけ、図書館を通して学外図書館から取り寄せてもらう」があります。それぞれの方法でアプローチが異なり、手間がかかることから、学習や研究の場面では一番楽に入手できる検索結果画面からのダウンロード「①」に偏りがちになることがあります。しかし、さまざまな文献の入手方法があることを受講生(特に学生)が知っておくことで、卒業後、自分で文献を入手するために動くことができるようになります。そのため指導では特に「②」や「③」で実際に学内外の所蔵を調べ、学内にある雑誌については現物を手に取る経験ができるよう演習を組むようにします。

3) 演習を行う環境、演習スタッフの確保

演習を行うにあたり、インターネットに接続されたパソコンが設置されている図書館や教室を確保します。学内にパソコンがほとんど設置されていない小規模な学校では、近隣の大学や高校などの施設を使う例、教室でスマートフォンを使って演習を行う例もあります。また受講者に演習課題を先に渡して各自で自宅や学校のパソコンを使って取り組んでもらい、後日、教室で解説を実施する例もあります。

演習スタッフについては、できれば担当教員等のサポートもお願いしましょう。教員にはデータベースの操作に不慣れな場合もあり、基本的な使い方を知ってもらう機会として積極的に声をかけたいものです。

4) 文献検索演習の実施例

小川恵美. 看護学校における文献検索演習での協働. 看護と情報, 2018:23-27.

細矢敬子他. 学内外の看護師・看護教員および看護学科学生,大学院生を対象とした5種類の検索演習. 看護と情報, 2016:46-50.

参考文献

山崎茂明, 六本木淑恵. 看護研究のための文献検索ガイド. 第4版増補版, 日本看護協会出版会, 2010.

佐藤淑子他編著. 看護師のためのWeb検索・文献検索入門. 医学書院, 2013. (JJNスペシャル, no.95)

操華子, 松本直子. 臨床看護研究の道しるべ. 日本看護協会出版会, 2006.

諏訪部直子, 平紀子. わかりやすい医中誌Web検索ガイド: 検索事例付. 日本医学図書館協会, 2013. (改訂予定の予告あり)

岩下愛, 山下ユミ共著. 図解PubMedの使い方: インターネットで医学文献を探す. 第7版, 日本医学図書館協会, 2016. (2021年に改訂予定の予告あり)

EBSCO Information Services Japan. CINAHLシリーズ総合操作マニュアル.

URL: http://www.ebsco.co.jp/materials/manual/CINAHLseries_searchguide.pdf, (accessed 2021-10-31).

4. ガイダンス

看護図書館での利用教育は、細やかなニーズに応える小規模なガイダンスが企画されます。

1) 少人数やゼミなどを対象としたガイダンス

少人数を対象としたガイダンスには、以下のような内容が挙げられます。学生が自分のテーマで文献検索を実際に行い、習ったスキルの定着を図ろうとするもの、連続講習会として体系的に学ぶ形(例: 文献検索の基礎～応用演習)もあります。誰もが参加しやすい長期休暇に行われることもあります。

例: 利用教育で扱った内容の定着を図るもの/特定のデータベースの使い方/より精緻な文献検索方法/連続講習会(など)

ゼミの場で実施する場合は、学生が関連領域に関するより高度な知識や考え方を学び、研究に取り組む場面であることから、実践的なスキルの確認や定着を含め、担当教員等からの要望を十分に取り入れるようにします。

なお、ガイダンスに参加する(できる)者と参加しない(できない)者との間にスキルの差が生じる問題点があり、将来的には、誰もが受講できる機会の確保が求められます。

2) データベース等の作成・提供機関によるガイダンス

図書館が契約しているデータベースや文献管理ソフトなどの講習会を図書館が企画し、製品の作成・提供機関(提供側)の担当者が解説や演習を実施します。オリエンテーションや他の利用教育の機会に関心を持った“もっと知りたい”利用者と、きめ細やかなサポートをしたいと思いつつもマンパワー不足から難しい現状にある提供側の両者のニーズを満たす場となります。対面もしくはオンラインで実施し、実施後は(提供側の許可を得た上で)資料や動画などを保存し、参加できなかった利用者也参照できるようにします。

3) 小規模な図書館で行うガイダンス

専門学校などの小規模な図書館では利用者との距離感が近く、日常的な関わりから企画が生まれたり、学生たちが「わからない」と話していることについてその場でミニレクチャーが行われたりと、比較的柔軟な動きがとれます。これまでに述べてきたガイダンスの例のほかにも以下のような企画も挙げられます。

例: 略語を調べる/薬や検査値を調べる/事例から社会資源や統計を調べる/ケーススタディを読む会/就職先の情報を調べる(など)

実施する際は、企画やその意図を教員に理解してもらうことがポイントになります。やさしい調べごとであったとしても、過去のレファレンス記録などから学生がつまずいている点などを丁寧に指摘します。教員が理解を示すと、「空き時間を使ってクラス全員に受講させたい」という希望が出る場合があります。その場合は、教員の要望を改めてくみ取り、クラス単位で実施できるプログラムを考えていきます。企画を積み重ね、学生の学びに沿った利用教育のあり方を教員とともに模索することができます。

参考文献

矢田俊文. エンドユーザの情報リテラシー教育 : インターネットを使った研修. 情報の科学と技術, 2009;59(7): 341-347. URL: <https://doi.org/10.18919/jkg.59.7.341>, (accessed 2021-10-30).

5. academic writing へのサポート

利用者から寄せられる課題レポートや卒業研究などのテーマ探しや作業全般にわたる相談について、図書館では、基本的にはレファレンスサービスの枠組みで対応し、レポートの具体的な内容に踏み込む場面では出題者(担当教員)に相談するように促していきます。レポートや研究論文の執筆は、図書館が行ってきた利用教育全般のスキルを利用者個々が実際に使い、身につける機会であり、それを図書館員が見守り、助言する場面として捉えることができます。

1) レポートを書くように言われたのですが、何をすればいいですか。

どのような課題が出されているのかを確認し、調べたことをまとめた上で自分の意見を述べるタイプのレポートでは、作成の一般的なプロセス(=何をしたらよいか)を学習するための図書やAV資料の視聴を勧めます。

2) テーマが決まらない(絞れない)のですが。

質問者が馴染みのないテーマに取り組む時は、関連する入門書、中高生向けの新書、新聞記事などを提示して関心を広げていきます。卒業研究などのテーマ設定の場合は、同様に、「最新看護索引 Web」などを使い、関心領域にどのようなテーマが展開されているかを知ってもらうことで具体的なテーマに絞りこむための材料を提供することができます。

3) 関連文献が全く(ほとんど)ないのですが。

これまでの探索過程、質問者が想定している「文献」とは何を指しているか(図書、雑誌記事など)を確認し、探索範囲やそれに適したデータベース等が選択されているかを見極めます。またテーマに関連する基本用語、作成した検索式、検索結果の評価が適切かを確認していきます。課題レポートによってはテーマに関する資料がほとんど所蔵されていないこともあり、近隣の大学図書館や公共図書館、書店等の利用も勧めます。

4) この本(実際には雑誌記事)がないのですが。

メモ等に書かれた書誌事項の要素が図書や雑誌記事等のどれにあたるかを一緒に確認し、区別ができるよう助言していきます。

5) この文献が見たいのですが、雑誌に記事がないです。

記述間違いや出典の孫引き等の可能性を考えながら再検索して正しい書誌事項を確認します。また、この対話を通して質問者自身が書くレポート等においても正しい書誌事項を示すことが大切であることを理解できるように関わっていきます。

6) 探した研究論文を読んでくるように言われたのですが、難しくて読めません。

学術文献を読み解くには文章を理解し解釈するための主題知識が必要であり、教員の指導が求められる場面です。一方で「読めない」という質問の背景には、文献を読むための基本的な知識やスキルを十分に身につけていないという側面もあります。図書館では利用教育で取り上げる内容をベースにした上で、基本的な知識やスキルの習得に関わることができます。

例: 研究論文の構成と要素/文章の主語の読み取り/読めない語、意味が分からない語の調べ方/直接引用と間接引用の区別/文献カードの書き方(書誌事項の読み取りなど)

7) 文献リストを書くのですが、引用文献と参考文献の違いがわかりません。

レポートや研究論文の最後に提示する文献リストには、「引用文献」と「参考文献」の2種類があります。両者は一般的に以下のように区別されますが、両者を合わせて「参考文献」と呼ぶこともあります。

引用文献: 文中で引用した文献

参考文献: 文中で引用していないが、執筆する上で参考にした文献

文献リストの作成は、作成する文献リストの種類、文中の引用部分の書き方なども併せて、原則として提出先が指定したルールに従います。提出先が学内(課題レポートや卒業研究等)の場合は、科目担当教員による指示のほか、学校が作成した「執筆要項」が配布されていることが多く、まずそれらを確認します。学会発表や投稿論文などについては、提出先の学会や雑誌で作成された「執筆要項」、「投稿規定」などで方法が説明されています。該当学会の Web サイトや学会誌、雑誌等に掲載されていることが多いので、参照するよう伝えます。

文献リストの書き方には大きく分けて 2 つの方法(スタイル)に分けられます。文献を引用順に番号で示す「バンクーバースタイル」と著者名順と年代順に示す「ハーバードスタイル」です。医学・看護学領域で用いられるスタイルの例として以下が挙げられ、図書や Web サイトで内容を知ることができます。前述した「執筆要項」、「投稿規定」等では、特定のスタイルに準じる、あるいは一部変更されたものをルールとして定めている場合があります。

バンクーバースタイル

「NLM スタイル(米国国立医学図書館)」

「SIST 02 [科学技術情報流通技術基準: 参照文献の書き方](科学技術振興機構)」

ハーバードスタイル

「APA スタイル(米国心理学会)」

8) academic writing を指導する教員との連携・支援

利用者から出された質問やその対応は、他の学生にも伝えられるよう担当教員と共有します。これは次年度以降の利用教育につながるきっかけになります。さらに教員自身が社会人学生として在籍する大学等の課題レポートに関する相談についても、図書館では学生と同様の支援をし、教員が学生指導をする際に学びや気づきが得られるよう関わることができると思われま

参考文献

日本図書館協会. レポート・論文を書こう!: 誰にでも書ける 10 のステップ. 紀伊国屋書店, c2007. (Library video series, 情報の達人, 第 3 巻)

Patria, K; Wendling, D. Citing Medicine : The NLM Style Guide for Authors, Editors, and Publishers. 22nd ed, 2007-. URL: <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK7256/>, (accessed 2021-10-30).

科学技術振興機構. SIST02 参照文献の書き方. SIST 科学技術情報流通技術基準.

URL:

https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm, (accessed 2022-3-20).

科学技術振興機構. 参考文献の役割と書き方: 科学技術情報流通基準(SIST)の活用. 科学技術振興機構.

URL: <https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/index.html>, (accessed 2022-3-20).

アメリカ心理学会(前田樹海他訳). APA 論文作成マニュアル. 第 2 版, 医学書院, 2011.

前田樹海, 江藤裕之. APA に学ぶ看護系論文執筆のルール. 医学書院, 2013.